

令和2年度

えんネット

報告書



ワークライフバランス

1) 教育

(1) 男女共同参画講義（キャリア教育）

臨床実習前の医学科 4 年生対象にした男女共同参画講義（キャリア教育）を島根県医師会と共に、主催している。

日 時：令和 3 年 3 月 4 日（木）

対 象：島根大学医学部 4 年生ならびに島根県医師会会員

主 催：島根大学医学部地域医療支援学講座 島根県医師会

共 催：日本医師会 島根大学男女共同参画推進室 島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室

<特別講義>

広島大学医学部附属教育センター 教授 蓮沼 直子先生

<キャリアモデル講演>

島根大学医学部 消化器内科 助教 沖本 英子 先生

器官病理学 講師 荒木 亜寿香 先生

<島根大学男女共同参画の取り組み>

島根大学学長特別補佐（男女共同参画担当）河野 美江 先生

<島根県「えんネット」の取り組み>

地域医療支援学講座 助教 堀田 優希江

<医師会講演>

島根県医師会男女共同参画委員会委員 春木 宥子 先生

「女性医師の子育て～8 年間で何が変わったか、何が変わってないか～」

立命館大学産業社会学部 教授 筒井 淳也 先生

「家族社会学からみた現代の家族とケア」



(2) ワークライフバランス講義

和歌山大学医学部医学科 1 年生に対して、医学概論Ⅱの講義を「ワークライフバランスとヘルスプロモーション」と題して教授 佐野が担当した。学生たちは興味を持って聴講していた。

(3) 医師生活密着型実習

医師密着型実習とは、島根でがんばる医師に同行して実習を行い、自分の将来像を探すことを目的にした実習である。

協力女性医師の所属

- ・ 出雲市総合医療センター
- ・ 飯南病院
- ・ 浜田国保診療所連合体
- ・ 島根大学医学部附属病院 など

(4) 地域とともに課題を見つめ、キャリアをデザインする

しまねガールズ・サイエンスプロジェクト

島根大学男女共同参画推進室が進めるJST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」
高大連携事業に参画している。

(5) セミナーの開催

〈ワークライフバランスセミナー〉

日 時：令和2年11月16日(月)18:00-19:30

場 所：島根大学医学部みらい棟4階 ギャラクシー

Zoomを使用したハイブリット形式

講 師：株式会社 Woman's 代表取締役 宮崎 結花 先生

対 象：学生、医療関係者

参加者：現地22名 web5名

主 催：島根大学医学部地域医療支援学講座



概 要： ワークライフバランスの考え方を一新するお話をいただいた。人生100年時代といわれる今、人生の道筋を学習・仕事・余暇の3ステージに分けて考えていた時代は過去である。新しい生き方としてその3つを同時に考えるマルチステージという時代になり、お金という有形資産から、スキルや健康・友人、自己変革する力等の無形資産に価値を置く時代になったと話された。

また、ワークとライフのシナジー効果についてお話し頂き、実際にマルチステージチェックシートを用い自己を振り返り、さらには人生をより豊かにする為に自己の役割からそのバランスを描くワーク活動を行った。

参加者のアンケートには、「ワークに傾いているのでライフを充実させたい」「新しい生き

方について考える時間となった」等の回答があった。

2) 就労支援

(1) 相談窓口

平成 26 年 8 月から働き方に不安を抱える方の窓口（えんネット）を設置し、出産・育児後の女性医師等が安心して職場復帰や、現在の働き方に悩みを抱える方のために個々に応じた復職への相談も受け付けている。復職支援プログラム作成や復職に向けたシミュレーション教育等を支援して、専門に応じた対応が必要な場合は、支援担当員として協力いただく専門科の先生に相談を受けることも可能としている。

相談件数 20 件

・相談窓口事業の相談内容

- ① 県内に赴任した際の研修機会の確保
- ② 離職後の段階的なスキルアップについて
- ③ 異動先の研修施設 院内保育所等 福利厚生 の状況
- ④ 身体的不調, 精神的不調
- ⑤ ライフイベントに関連した働き方
- ⑥ ライフイベントと奨学金返還免除期間

(2) 復職サポート

職場紹介、雇用についてサポートを行った。勤務が開始された後は健康面、精神面での定期的なフォローを行っている。

復職実績 1 件

(3) 女性医師と医学部学生のえんネット交流会

女性医師の働き方、女性医師同士の横のつながりを持つために開催した。女性医師らと学生とで議論が深まった。

日 時：令和 2 年 12 月 15 日（火）17:00～18:00

会 場：島根大学医学部みらい棟 2 階 共通カンファレンス I

Zoom によるハイブリット開催

参加者：敬称略 順不同 小川典子（解剖学講座発生生物学） 木村かおり（法医学講座）
濱口愛（呼吸器・化学療法内科） 真子絢子（小児外科） 中尾美香（呼吸器・化学療法
内科、先進医療管理センター） 持地美帆子（眼科） 堀田優希江（地域医療支援学）



学生 2 名

概要： Zoom も併用しての開催となった。学生 2 名を含む 9 名での交流会を行った。イマキクというオンラインアンケートを使用し、医師になった理由や、女性医師としての立場や環境について、将来のプランについて活発に話し合うことができた。また、全員現状の働き方に満足しているとのことであり、以前よりも女性医師の働く環境の満足度は高くなっているとお話があった。島根県での子育てのメリット・デメリットについても高学年の子供を持つ母親からの意見が聞くことができ、今回は未就学児を持つ女性医師が多く参考になった。女性医師の管理職における現状や、女子学生の入試問題についても問題提起し話し合うことができた。また、外部サービスの利用なども実際に聞いて参考になった。学生からも、楽しかったとの意見が聞けた。全体的に盛況であり今後も定期的に交流を持ちつづけたと考えている。

(4) 令和 2 年度 島根県医師事務作業補助者研修会（オンライン開催）

【日 時】 令和 3 年 1 月 23 日(土) 13 : 30~16 : 00

【講 師】 松江赤十字病院 副院長 村田 陽子先生

【参加者】 131 名

【主 催】 島根県健康福祉部医療政策課・一般社団法人しまね地域医療支援センター・島根大学医学部地域医療支援学講座

【概 要】 島根県から委託を受けているワークライフバランス事業の一環で、共催で行っている事業である。

この研修会は医師事務作業補助者のスキルアップとその役割について理解を深めることを目的としている。2024 年 4 月の「医師の働き方改革の実現」に向けた議論が進む中で、医師事務作業補助者は医師の事務的な業務をサポートし、医師が本来の診療に専念できる環境を整備するための重要な職種の 1 つと考えられている。

講師には松江赤十字病院の副院長で、昨年 9 月には病院職員の環境改善の取り組みが地元紙に掲載された村田陽子先生を迎え「乳腺疾患の基礎講座」と「医療クランクへの期待」についてお話し頂いた。

また県内の 3 病院から、取り組みの状況を発表頂き活発な意見・情報交換が行われた。

3) 研究

学生のキャリア選択についての研究

研究代表者：佐野千晶

医学生のキャリア認識が、どういった生物学的因子、社会的因子、経済的因子、環境因子、教育機会因子と関連しているのかについてキャリア・アンカー理論を応用し、研究している。また、他学部との共同研究を開始し、医学生のキャリア選択について検討している。

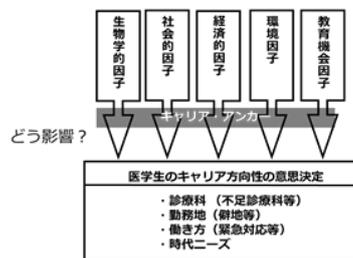


図1. 本研究の問い：医学生のキャリア認識

4. 広報

1) えんネットマガジンの発行

特集：島根県央で地域医療を支える医師たち
大田市立病院 医師6名にインタビュー取材

2) えんネットホームページ

本年度、デザインを一新し、リニューアルした。



<https://www.en-net.jp>

5. 託児付セミナー支援

- ・えんネット交流会

令和2年12月15日(火) 17:00~18:00